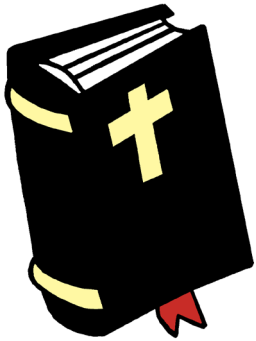




せいしょ とうじょう わかもの 聖書に 登場する 若者たち：

いぜん ひつじか 以前は 羊飼だった ザフナテ・パネア

そうせい き だい しょう だい しょう
創世記 第37章と 第39-50章より

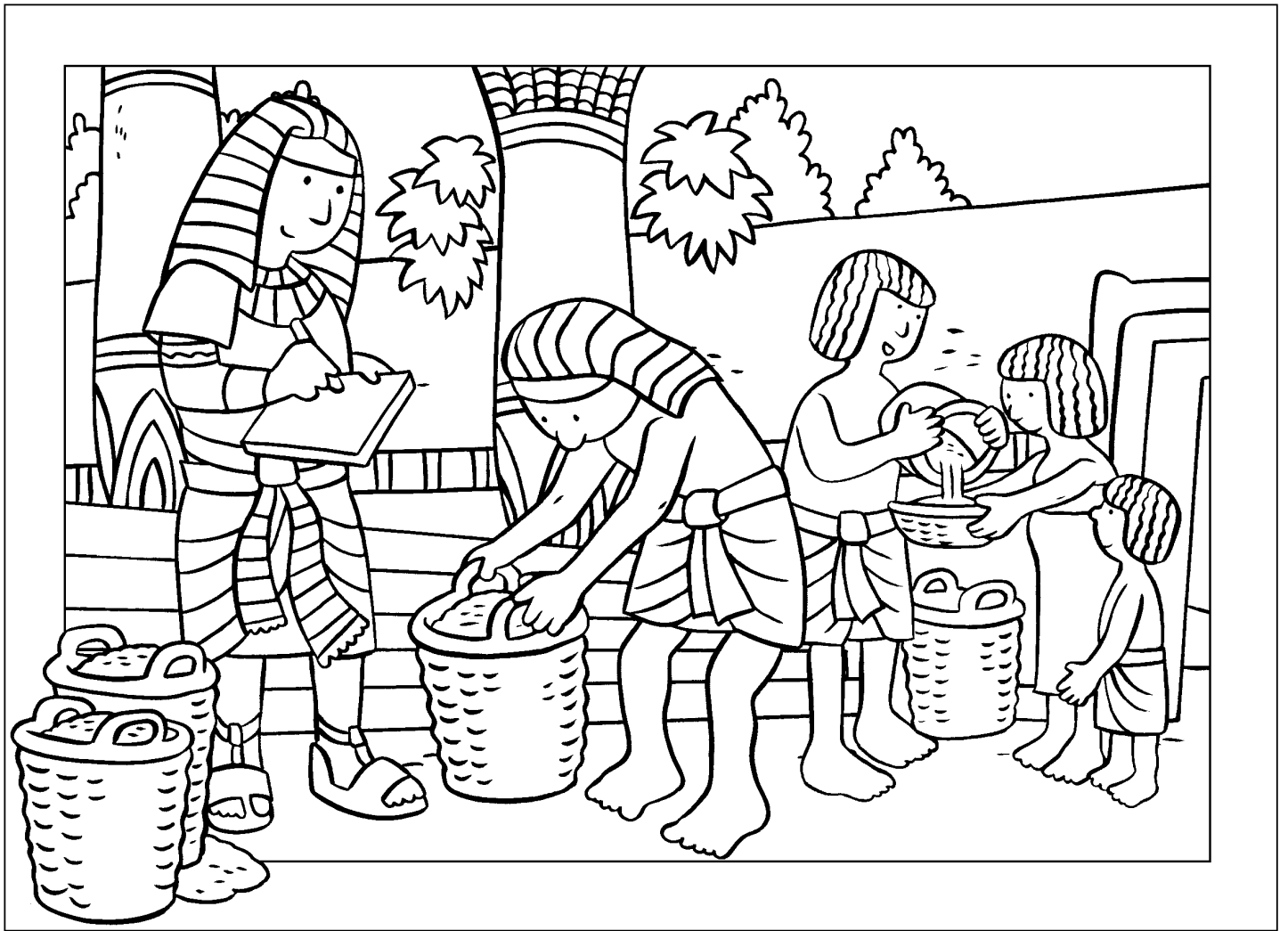


ヤコブ（別名イスラエル）には、息子（むすこ）が 何人（なんにん）も いました。中でも 11番目（ばんめ）の 息子（むすこ）ヨセフは、父親（ちちおや）のお気に入り（き）でした。ヤコブが ヨセフを 格別（かくべつ）に ひいき（い）したため、兄（あに）たちは 弟（おとうと）の ヨセフを ねたむ（ねたむ）ようになりました。

ある時（とき）、ヨセフを ねたんで（ねたんで）いた 兄（あに）たちは、エジプト（む）へ 向（む）かって（む）いた 商人（しょうにん）に、奴隷（どれい）として ヨセフを 売（う）って（う）てしまいました。それは ひどい（ひどい）こと（こと）でしたが、神様（かみさま）は ヨセフを 見捨（みす）て（みす）られ（られ）ませんでした。神様（かみさま）は、ヨセフの 人生（じんせい）に 特別（とくべつ）な 計画（けいかく）を 用意（ようい）して（して）おられた（ら）のです。

ヨセフは、エジプト（あたら）で 新（あたら）しい 主人（しゅじん）のために 一生（いっしょう）けん命（めいはたら）働（はたら）きました。けれども ある時（とき）、ヨセフは ある ぬれぎぬ（ぬれぎぬ）を 着（き）せられて、ろうや（ろうや）に 入（い）れられて（い）てしまいました。それは とても びっくり（びっくり）すること（こと）でしたが、ろうや（ろうや）の中（なか）でも ヨセフは 神様（かみさま）への 信仰（しんこう）を 持ち（も）て、熱心（ねっしん）に 他（た）の人（ひと）たちの 助け（たす）けに（たす）けになりました。そして ついに 神様（かみさま）は、ヨセフが エジプト（エジプト）の 王（おうさま）である パロ（パロ）の 目（め）に 留（とど）まる（とど）まると（とど）まると されます。ヨセフは、パロ（パロ）の 見（み）た 夢（ゆめ）を 解釈（かいしやく）することが（か）できた（か）のです。

ヨセフは パロ（パロ）に 認（みと）められ、ザフナテ・パネア（ザフナテ・パネア）という、エジプト（エジプト）の 名前（なまえ）も 与（あた）えられました。30歳（さい）という 若（わか）さで、ヨセフは、エジプト（エジプト）の 主（しゅ）席（せき）大臣（だいじん）という 地位（ちい）を 与（あた）えられました。それは、パロ（パロ）の 次（つぎ）に 高（たか）い 位（くらい）でした。



せいしょ どうじょう わかもの
聖書に 登場する 若者たち：

いぜん ひつじか
以前は 羊飼だった ザフナテ・パネア

そうせい き だい しょう だい しょう
 創世記 第37章と 第39-50章より



ヤコブ（別名イスラエル）には、息子が 何人も いました。中でも 11番目の 息子ヨセフは、父親のお気に入りでした。ヤコブが ヨセフを 格別に ひいきしたため、兄たちは 弟のヨセフを ねたむようになりました。

ある時、ヨセフを ねたんでいた 兄たちは、エジプトへ 向かっていた 商人に、奴隷として ヨセフを 売ってしまいます。それはひどい ことでしたが、神様は ヨセフを 見捨てられません。神様は、ヨセフの 人生に 特別な ご計画を 用意しておられたのです。

ヨセフは、エジプトで 新しい 主人のために 一生けん命 働きました。けれども ある時、ヨセフは ある ぬれぎぬを 着せられて、ろうやに 入れられて しまいます。それは とても がつかり ことでしたが、ろうやの 中でも ヨセフは 神様への 信仰を 持ち、熱心に 他の 人たちの 助けになりました。そして ついに 神様は、ヨセフが エジプトの 王様である パロの 目に 留まるように されます。ヨセフは、パロの 見た 夢を 解釈することが できたのです。

ヨセフは パロに 認められ、ザフナテ・パネアという、エジプトの 名前も 与えられました。30歳という 若さで、ヨセフは、エジプトの 首席大臣という 地位を 与えられました。それは、パロの 次に 高い 位でした。

文と絵とデザイン：ディディエ・マーティン